

平成10年5月30日(土) PM 1:30 2950g 才13(女児)

「入院するほう個室がいい +
んたほどしほうもたい理由からでした。こちらへ訪れたのは...
里帰り どのど、どの病院にしほう 悩んだ末「んた事
言、このほう 助産院にしほう？」母の一言で決めました。
この頃の私は病院と助産院の、違いほど ほとんどわからず
ただ周りの「何かある、た時の為に病院の方がいいよ」
この程度。「何か、何？」と感心しました。9ヶ月目まで
病院に通、こえたのだから、尚便 助産院の情報ほど入、こ
ませせよ。

はじめの健診に来た帰り、摩乃先生に貸していただいた
1冊の本を読んで じめて、「あり、あんな理由で決めたに
しては、何と大それた Lucky なのだろう。」自分で自分の事を
ほめてあげたい気分でした。こちらで出産した人から 誰もが
口をそろえて「助産院はいいよ」と言っているのに、何故、世間に
広がらないのか不思議に思いました。
何れともあれ、私の場合 最期のお産から、この「中嶋助産院」
に出逢えた事、そして後悔しないお産をさせて くれたことは事
一生 心に残るとでしょう。「ほんとに幸せな女だったよ」と...

摩乃先生 本当にお世話に何、ありがとうございました。
退院してから、先生がいっぱいと思うと(おたりあげおね)
と、とても不安ですが、精一杯 子育てがんばります。
先生も、とてもお疲れの御様子ですが、む、とも、といろいろな
人達に、これから先生「後悔のないお産 + 自然の力、赤ちゃんの
生命力を信じたお産 + 経験させてほしいと思います。
次は、男の子がほしいな」と思っていますのび、又、その時は
よろしくお、願います。

Sachiko T

P.S. うぶジエ)ートを読んだ事のある方々へ
このノート、全国(せめてこの範囲だけ)の
病院へ、1冊 贈らう、と、しようと 置いてきたら、い、と
思うのは、私だけでしょうか？